令和8年度 獨協医科大学大学院看護学研究科博士後期課程入学試験

【英語】 出題意図･解答例

問題１

【出題意図】

本問題は、博士後期課程を志す受験生の英語運用能力と研究者としての関心・問題意識を多角的に評価することを目的としています。

1. 学術的英語表現力の評価

医療・看護に関連する時事的課題について、自らの関心に基づき 150 語程度の英文で論述する課題とすることで、英語による論理的記述力、語彙力、構成力を測定します。単なる翻訳や暗記ではなく、自分の考えを英語で整理し発信する力を確認することを狙いとしています。

2. 医療分野の課題認識

近年の医療関連のニュースや研究課題に関心をもち、それを自分の言葉で説明できるかを問うことで、受験生が博士後期課程にふさわしい問題意識を有しているかを評価します。テーマは自由ですが、社会的に注目される課題（COVID-19 後の医療従事者のメンタルヘルス、少子高齢化と医療需要、AI やテクノロジーの導入など）が想定されます。

3. 批判的思考と研究的姿勢の確認

自分の選んだ課題について、背景・現状・課題を整理して記述する過程で、受験生の分析的思考力や課題発見能力を測ることを目的としています。博士後期課程における研究テーマの構築にも直結する力を確認します。

【解答例】

Recent Healthcare Issue

A significant healthcare issue attracting global attention is the mental health crisis among healthcare workers in the aftermath of the COVID-19 pandemic. During the pandemic, doctors, nurses, and caregivers faced overwhelming workloads, frequent exposure to infection, and emotional strain from caring for critically ill patients. Even after the acute phase ended, many professionals continue to experience burnout, anxiety, and depression. In Japan, this problem is compounded by structural challenges such as long working hours, staff shortages, and the demands of an aging population. Surveys indicate that younger nurses, in particular, are considering leaving the profession due to stress and poor work–life balance. If this trend continues, the shortage of skilled personnel will become even more severe, threatening the quality of patient care. Addressing this issue requires not only increasing staff numbers, but also implementing sustainable reforms to improve workplace culture, provide counseling support, and promote overall well-being.

問題２・問題３

【出題意図】

獨協医科大学大学院看護学研究科博士後期課程は、「社会から信頼され、地域社会及び地域の人々の健康課題の解決並びに保健医療福祉の質の向上に貢献するとともに、看護学の発展に寄与するため、高い倫理観を持って看護学上の課題を探求し、その解決に向けて幅広い視野に立脚しながら、科学的手法を用いて高度な看護学研究を自律して遂行できる教育・研究者を養成する」ことを教育理念として掲げ、アドミッションポリシー（AP）として、①看護学の専門領域に係る基礎的な知識並びに研究遂行能力を有する人、②地域、施設、病院、教育の場における看護学上の課題に問題意識を有し、解決に向けた看護学研究に取り組む人、③自律的に看護学研究に取り組む意欲を有している人、の 3 点としている。

英語の入試問題は、AP①「看護学の専門領域に係る基礎的な知識並びに研究遂行能力を有する人」を評価する意図をもって作成した。問題文として引用した『Notes on Hospitals』（『病院覚え書』）および『Notes on Nursing－HAT IT IS, AND WHAT IT IS NOT』（『看護覚え書』）の著者であるナイチンゲールは、看護の専門性を確立し、現代の看護学に多大な影響を与えた研究者として評価されている。『Notes on Hospitals』では科学的な根拠に基づく病院設計と運営改善、患者中心の視点を提言し、『Notes on Nursing-WHAT IT IS, AND WHAT IT IS NOT』では「看護とは何か」を明確に定義し、患者の健康回復を促すための専門的な行為と位置づけている。また、健康回復に必要な要素を普遍的なものとして提示している。

博士後期課程の教育理念にある「科学的手法を用いて高度な看護学研究を自律して遂行できる教育・研究者」として、ナイチンゲールの看護理論は不可欠な基礎的知識といえる。

問題２

【解答例】

患者の健康や生命に害を与えないこと

問題３

問１

【解答例】

新鮮な空気、陽光、暖かさ、静かさ、清潔さ、食事の規則正しさと食事の世話などのうちのどれか、または全部が欠けていること。

たいていの場合、病気のせいではなくて看護のせいなのである。

問２

【解答例】

患者の生命力の消耗を最小にするように整えること

問３

【解答例】

患者が呼吸する空気を、患者の体を冷やすことなく、屋外の空気と同じ正常さに保つこと